

海老名住宅展示場で地場野菜配布 ～JA施設事業で部門間連携～

11月14日(土)、JAさがみ、さがみ協同開発㈱、JA全農かながわ住宅相談課は、総合住宅展示場「海老名ハウジングギャラリー」で、地場野菜のPR会とJA住宅ローン相談会を開催した。JAさがみ直売所が新鮮な地場野菜「大根、ニラ、キュウリ、レタス」の詰め合わせを用意し、先着50組に無料で配布した。当日はあいにくの雨だったが、「地場野菜の詰め合わせ」という思いがけないプレゼントに来場者は笑顔を見せていた。



雨の中「地場野菜詰め合わせ」50セットを無料配布し、JA総合事業やJA施設事業をPR

JAグループ神奈川では、住宅展示場と連携したJA個人住宅事業に力を入れている。JA全農かながわ提携メーカーの展示住宅前には、JA提携であることを示す「のぼり」や「サインストーン」が設置され、JA組合員だけでなく、JAに馴染みのない多くの来場者にもPRしている。また、JA施主代行方式やJA住宅ローン、共済など、他部門と連携して総合的に「住まいづくり」を支援している事を、展示場でのイベントやローン相談会の開催を通じてアピールしている。

県下JAの多くがこうした住宅展示場を活用したJA個人住宅事業に取り組んでおり、例えば、JAさがみでは組合員向けに「JAさがみ20周年キャンペーン、住宅・アパート建築キャンペーン」を展開するほか、管内4ヶ所の住宅展示場でJA指定住宅メーカーのモデルハウスを見学する「スタンプラリー」を実施中だ。

最近では、過去に建築した住宅の耐震性への不安など、施主からJAに問い合わせが来るケースもある。「JA施主代行方式」で建てた住宅は、JA全農かながわが施主に代わって当時の図面や資料を点検し、安全性に問題が無い事を確認しており、施主には大きな安心が得られる制度といえる。

JAグループ神奈川では、JAが施主に代わって建築に関する専門的支援を行う「JA施主代行方式」の安心感を広くPRするためにも、住宅展示場との連携を強化していく。